

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、一層の機能強化を図ることを目指し、2016年度より取締役会全体の実効性に関する評価を行っております。今般、2023年度の評価を行いましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

取締役会の実効性に関する質問票を、監査等委員を含むすべての取締役に配布し、匿名での回答を得ました。回答内容に基づき、当社取締役会は取締役会の実効性に関する分析および評価を行いました。

対象者：取締役会出席者全員(10名)

回答者：取締役会出席者全員(うち社外取締役4名)

実施日：2024年4月～5月

質問内容：質問票における大項目は、以下の通りです。

- (1) 取締役会の構成、 (2) 取締役会の運営、 (3) 取締役会の議題
(4) 取締役会を支える体制、(5) 株主・ステークホルダーへの対応

その他：昨年実施した実効性評価で出された各役員の見解を踏まえた課題に対する対応策の実施状況を確認いたしました。なお、2018年6月からは監査等委員会設置会社に機関設計を変更しており、監査等委員会の実効性も併せて評価しております。

2. 取締役会の実効性に関する分析および評価の結果

2023年度も、プライム市場上場企業に相応しい取締役会であるかという観点から実効性を評価した結果、過半の項目で昨年度と同水準の評価となりましたが、昨年の改善項目である「取締役会の議題」への課題対応につきましては、評価の大きな改善には至りませんでした。しかしながら、他の項目については、前年とほぼ同等の評価を維持しており、以上の自己評価結果の分析を踏まえて討議した結果、当社取締役会は大筋において「取締役会の実効性は有効に機能している」と結論づけました。

3. 取締役会の実効性に関する評価結果を踏まえた今後の取組みについて

当社取締役会では実効性向上に向けた課題の抽出と今後の取組みについての意見がなされ、寄せられた改善点に基づき、以下の改善計画を立てて改善に取組み、取締役会の実効性を更に高めるとともに、一層充実したコーポレート・ガバナンス体制を構築してまいります。

項目	2023年度取組方針	取組結果	2024年度取組方針
取締役会の議題	・重要な議案の選別により、決議事項に割り振る時間を増やし、実効性ある議論がより深まるべく対応する ・「重点テーマ」のさらなる活用による深度ある議論をおこなっていく	・新規事業戦略やサクセッションプランに関する審議の機会が少ない ・重点テーマを協議する場は設定されているが、期待通りに活用されていない	・重要な議案（新規事業戦略等）を「重点テーマ」として取り上げ、従来以上に時間をかけ十分な議論をおこなっていく

以上